

MAKE THE
WORLD SEE

Milestone Systems

Milestone Husky™ X2 NVR

スタートガイド

9月 2019



目次

著作権、商標、および免責条項	3
お客様の新しいMilestone Husky™ X2	4
フロントビュー	5
バックビュー	6
スタートガイドチェックリスト	7
インストールの前に	9
ネットワークとデバイスを準備します	9
ソフトウェアライセンスコードを入手します	9
ユニットを準備します	10
ユニットの電源を入れてHusky Assistantウィザードを完了します	12
Windowsの最初の実行	12
Husky Assistantウィザードを完了します	13
XProtect VMSをインストールします	19
Recording Serverをインストールします	21
Failover Recording Serverをインストールします	22
XProtect®Device Packのダウンロード	23
Windowsをアップデートします	24
他のコンピュータにクライアントをインストールします	25
XProtect Smart Clientをインストールします	25
XProtect Smart Client インターフェース	26
Management Clientをインストールします	27
Management Client インターフェース	28
システムの調整	29

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2019 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

このマニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生する危険の責任はすべてその使用者にあるものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事項も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の契約条件が適用される可能性があるサードパーティ製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はお使いの Milestone システムインストールフォルダーにあるファイル `3rd_party_software_terms_and_conditions.txt` を参照してください。

お客様の新しいMilestone Husky™ X2

次のものをお届けしました。

- Milestone Husky™ X2
- ハードドライブ (Milestoneから注文された場合)
- ハードドライブトレイ
- 電源 ケーブル
- スタートガイド
- 保証契約

Milestone Husky™ X2は、ご利用のシステム条件により異なる設定で使用することができます。

- スタンドアロン インストール
- マルチユニット インストールでは、1台のMilestone Husky X2がManagement ServerとRecording Serverの役割として、その他のMilestone Husky X2ユニットはRecording Serverとしてインストールされます。
- 既存のXProtect システム内のRecording ServerとしてのMilestone Husky X2

次のような柔軟な機能があります。

- Milestone Husky X2は、XProtect監視カメラ管理ソフトウェアをプリロードした状態で出荷されます。
- Husky Assistantは、XProtectのインストールを実施してMilestone Husky X2の使用を最適化します。
- Milestone Husky X2は、有効なソフトウェアライセンスコード(SLC)を入力することで、5種類のXProtect VMS製品いずれのバージョンにも使用できます。

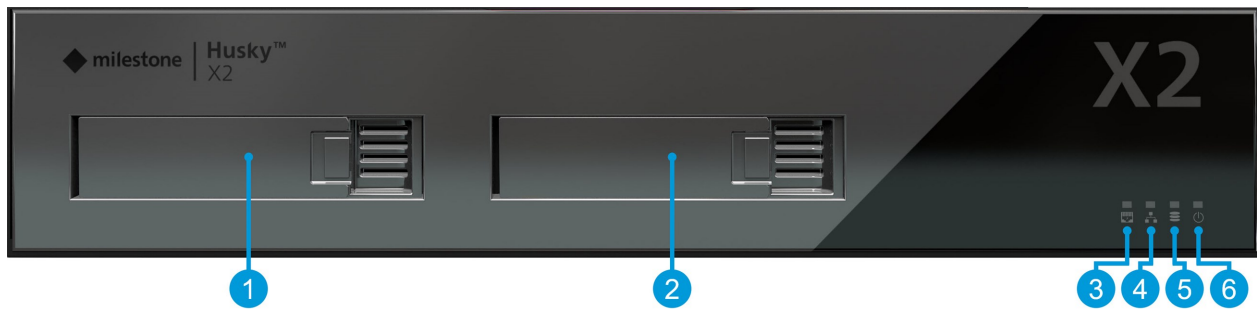
Milestone Husky X2には、2種類のモデルがあります。HX2P16とHX2で、違いはそれぞれ16 x 1Gb/s PoE+対応のネットワークスイッチが付属、あるいは付属していない点です。このガイドは、両モデルが対象です。次のセクションで、Milestone Husky X2を最小限のステップでご利用できるよう説明します。

- ページ5のフロントビュー
- ページ6のバックビュー
- ページ7のスタートガイドチェックリスト

製品情報およびサポートについて詳しくは、Milestone Husky X2製品情報のウェブページ (<https://www.milestonesys.com/HuskyX2-support/>) を参照してください。携帯電話で、ユニットの背面にあるQRコードをスキャンすることもできます。ここから同じページが開きます。

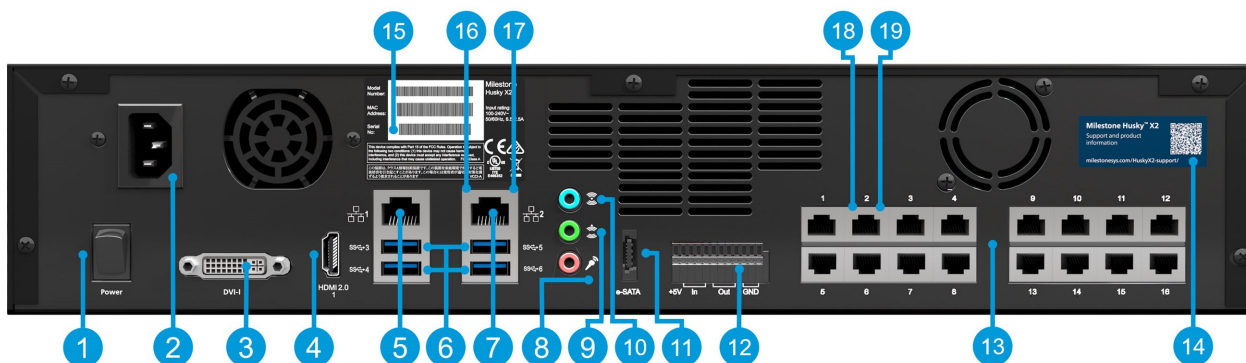
Husky Tools Installerのアップデートについては、Milestone ウェブサイト (<https://www.milestonesys.com/downloads/>) を参照してください。Husky Assistantの最新バージョンをご提供しています。

フロントビュー



コネクタ	LED ステータスインジケータ	LEDの色
1. 左 データハードドライブベイ	3. PoE	青色の場合はOK / 赤色の場合は失敗
2. 右 データハードドライブベイ	4. LANのアクティビティ	青色
	5. データハードドライブのアクティビティ	青色の場合はOK / 赤色の場合は失敗
	6. ユニット電源	青色の場合はオン

バックビュー



コネクタ

1. 電源スイッチ	6. 4 x USB 3.0 ポート	11. eSATA ストレージポート
2. 電源	7. LAN ポート2	12. I/O コネクタ
3. DVIディスプレイポート	8. 音声マイク	13. PoE+ ネットワークスイッチ 16 x 1Gb/s (オプション)
4. HDMIディスプレイポート	9. 音声出力	14. サポートおよび情報に関するQRコード
5. LAN ポート1	10. 音声入力	15. シリアルナンバー付きラベル

LED ステータスインジケータ

LEDの色

16. LAN ポートのアクティビティ	黄色の点滅
17. LAN ポートのリンクスピード	黄色 = 100Mb/s. 緑色 = 1Gb/s オフ = 10Mb/s
18. PoE スイッチ LAN ポートのアクティビティ	黄色の点滅
19. PoE スイッチ LAN ポートのアクティビティ	緑色の場合はOK / 赤色の場合は失敗

スタートガイドチェックリスト

このガイドは、Milestone Husky X2の全モデルに適用可能です。下記のチェックリストに従って、インストールの各ステップを正しい順序で行ってください。各ステップは、その後のセクションで詳しく説明しています。

☐ ネットワークとデバイスを準備します	- 静的IPアドレスをすべてのコンポーネントとカメラに割り当てます - カメラモデルとファームウェアがXProtectシステムでサポートされていることを確認します - カメラはネットワークに接続してください。そうすることでユニットからアクセスできます。
☐ ソフトウェアライセンスコードを入手します	- XProtectソフトウェアを購入して、ライセンスコードを入手します。 - Milestone Webサイト(https://online.milestonesys.com/)に移動し、SLCを登録します  このステップはXProtect Essential+システムには適用されません
☐ ユニットを準備します	- 筐体を支える棚やレールを使ってユニットをマウントします - ハードドライブを挿入します - 周辺機器、LAN、電源を接続します - Milestone Husky X2 HX2P16では、カメラやデバイスをネットワークスイッチのLANポートに直接接続することができます
☐ ユニットの電源を入れてHusky Assistantを完了します	- コンピュータ名とドメインまたはワークグループを設定します - ネットワークスイッチを設定します。選択したIPの範囲には、カメラとデバイスの全IPアドレスが含まれるようにしてください - プリロード済みのXProtectソフトウェアバージョンを選択するか、Milestoneウェブサイト(https://www.milestonesys.com/downloads/)で該当するXProtectのバージョンをダウンロードしてください
☐ XProtect VMSをインストールします	- システムのインストールの詳しい説明 - Recording Serverのインストールの詳しい説明
☐ 最新のXProtectデバイスパックをダウンロード	デバイスパックは、XProtectソフトウェアをインストールするとき、自動的に含まれます。新しいデバイスやファームウェアバージョンに対応するために、最新のDevice Packを入手してください
☐ Windows® をアップデートします	必ず、お使いのWindows OSを最新のWindows Updates全てでアップデートしてください



他のコンピュータにクライアントをインストールします

- XProtect Smart Clientをインストールします
- XProtect Management Clientをインストールします

インストールの前に

Milestone では、実際にインストールする前に、次のセクションに掲載したステップを実施することを推奨しています。

ネットワークとデバイスを準備します

1. 静的IPアドレスをすべてのコンポーネント、デバイス、カメラに割り当てます。

デバイスやカメラの準備、設定は、カメラのメーカーから提供された説明書に従ってください。

2. カメラやデバイスが、カメラネットワークに対応し接続されていることを確認してください。

Milestone ウェブサイトで、対応デバイスとファームウェアのバージョンを確認することができます (<https://www.milestonesys.com/supported-devices/>)。

3. 利用可能な場合は、インターネット接続のあるローカルエリアネットワークをLANポート1に接続します。このネットワークは管理および閲覧用です。

4. カメラネットワークをLANポート2 (Milestone Husky X2 HX2) に接続、または

閲覧用ネットワークをLANポート2 (Milestone Husky X2HX2P16)に接続します。



Milestone Husky X2 HX2P16で、カメラとデバイスをPoEスイッチのLANポートに直接接続することができます。

ソフトウェアライセンスコードを入手します

Milestone Huskyユニットは、XProtect監視カメラ管理ソフトウェアがプリロードされた状態で出荷され、有効なソフトウェアライセンスコード(SLC)を適用することで5種類のXProtect VMS製品のどのバージョンともお使いになれます。SLCは、XProtect製品をお買い上げになると提供されます。Milestone XProtect製品とMilestone Care™の範囲については、MilestoneWebサイトに詳しく掲載されており、必要な条件に合った製品をご確認いただけます。

SLCはご注文確認書に印刷されており、ソフトウェア・ライセンスファイルはお客様のSLCに準じて名付けられています。Milestoneは、インストール前にMilestoneWebサイト(<https://online.milestonesys.com/>)でSLCを登録することを推奨します。代理店により登録済みの場合もあります。

ユニットではXProtect Essential+の無料バージョンを実行することも可能です。このバージョンは、有料のXProtect VMSシステムとは異なり基本的機能を提供し、カメラの台数に上限があります。この場合、ライセンスはインストーラで提供されます。この無料ライセンスを入手するには、インストール中にユニットをインターネットに接続する必要があります。

Husky Assistantを実行する際に、プリロードされた監視カメラ管理ソフトウェアのバージョンを確認することができます。別のバージョンをご希望の場合は、有効なSLCをお持ちであればそれを選択することが可能です。

お手持ちのユニットを既存の監視カメラ管理ソフトウェアのRecording Serverとして使用中の場合、SLCは必要ありません。この設定は、ご購入になった監視カメラ管理ソフトウェアのSLCが有効になっています。

XProtectソフトウェアは、異なる種類のライセンスにより許諾されています。

- **基本ライセンス:** 使用できるXProtect製品を管理します。
- **ハードウェアデバイスライセンス:** Milestone Huskyユニットに接続可能なハードウェアデバイスの数を管理します。ハードウェアデバイスとは、カメラやエンコーダー、あるいは類似のもので、個別のIPアドレスで識別されるものです。スピーカー、マイク、ハードウェアデバイスに付属の入出力デバイスにはライセンスは不要です。
- **追加の製品ライセンス:** お客様の新しいMilestone Huskyユニットは、XProtectどの追加製品も実行することができます。ほとんどのXProtect追加製品には、追加のライセンスが必要です。

インストールが完了すると、ライセンスを利用して監視システムが実行されます。このライセンスは指定された期間内にアクティベートする必要があります。この期間が猶予期間です。インストールが完了したら、**Management Client** の [ベージック] > [ライセンス情報 ノード] にあるSLCで、インストールされたものすべてについてライセンスの概要を確認することができます。

Milestone は、最終調整の前にライセンスをアクティベートすることを推奨しています。

- オンラインでアクティベーションする場合は、ご自分の **My Milestone** アカウントで **MilestoneWeb** サイト (<https://online.milestonesys.com/>) のソフトウェア登録ページにログインしてください。
 - オフラインでアクティベーションする場合は、**Management Client**にあるライセンスリクエスト(.lrq) ファイルをエクスポートし、ソフトウェア登録ページにログインしてその.lrqファイルをアップロードしてください。
- .lrqファイルをアップロードすると、Milestoneからアクティベートされた.licファイルがメールで送られ、インポートできるようになります。

ユニットを準備します



筐体をしっかり支えるため、ユニットは必ず棚に置くかレールを使用してください。



ハードドライブが装備されていないユニットを注文した場合は、お使いのハードドライブのパフォーマンスがMilestone Husky製品との併用向けに認定されていることを確認してください。パフォーマンスが認定されたハードドライブに関する詳細は、「**Milestone Huskyサポート& インフォメーションページ**」 (<https://www.milestonesys.com/HuskyX2-support/>) を参照してください。

1. ハードドライブをトレイにスライドして入れます。



2. 付属のネジを使ってハードドライブをトレイに片側2か所ずつ、4か所で固定します。
3. 各トレイを、ユニット前面にあるハードドライブベイいっぱいに差し込みます。トレイのパネ付きのフロント部分を押し、トレイを閉じます。



4. 周辺機器の接続: マウス、キーボード、音声機器、カメラをバックパネルのコネクタに接続します。
5. 利用可能な場合は、インターネット接続のあるローカルエリアネットワークを**LANポート1**に接続します。このネットワークは管理および閲覧用です。
6. カメラネットワークを**LANポート2**に接続します。ユニットに16ポートのPoE+対応ネットワークスイッチが取り付けられている場合は、**PoE LAN**ポートにカメラを接続します。
7. 電源ケーブルを接続してコンセントにプラグインします。

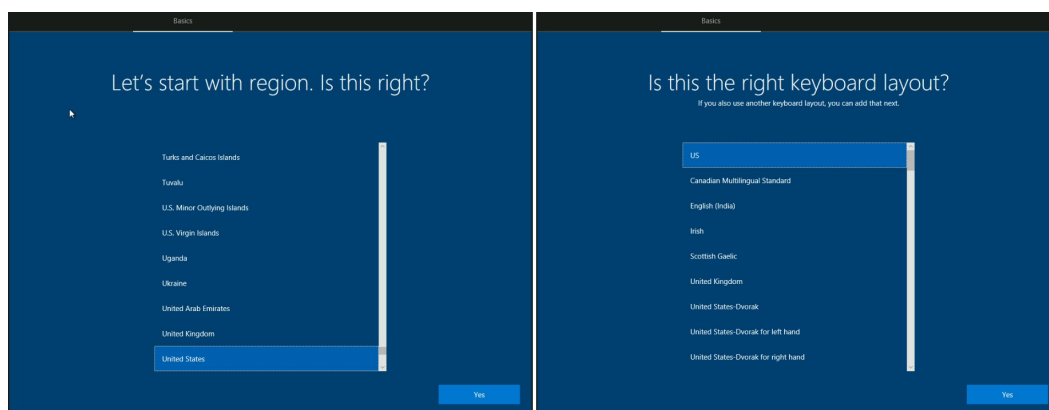
ユニットの電源を入れてHusky Assistantウィザードを完了します

Milestone Huskyユニットの電源を入れて、Windowsが初めて起動するまで待ちます。

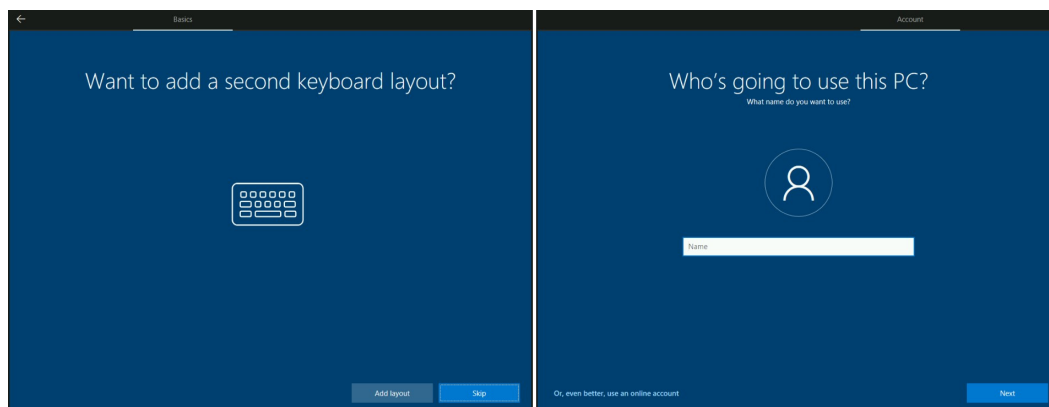
Windowsの最初の実行

国、言語、キーボード、アカウント情報を設定します。

1. 使用する地域を選択して[はい]をクリックします。



2. 適切なキーボードレイアウトを選択して、[はい]をクリックします。
3. 第2キーボードレイアウトを追加するか、あるいは[スキップ]をクリックします。



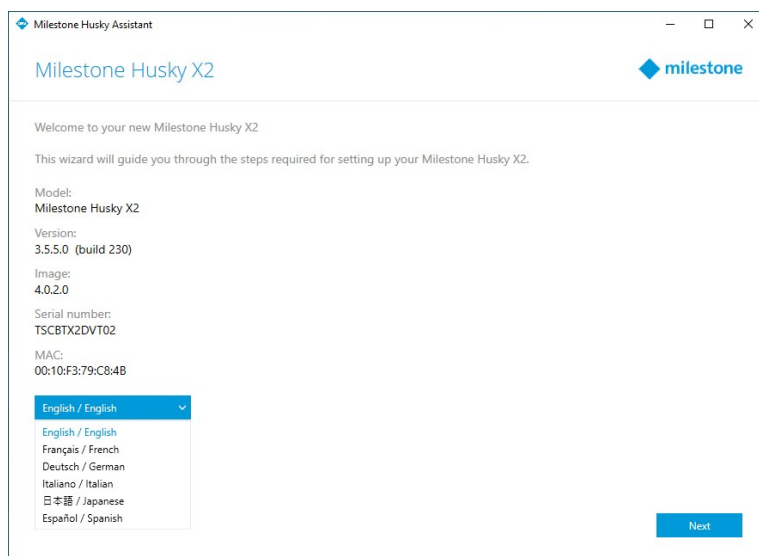
4. ユーザー名とパスワードでアカウントを作成します。
5. [次へ]をクリックして、Windowsのデスクトップが表示されるまで待ちます。

Husky Assistant ウィザードを完了します

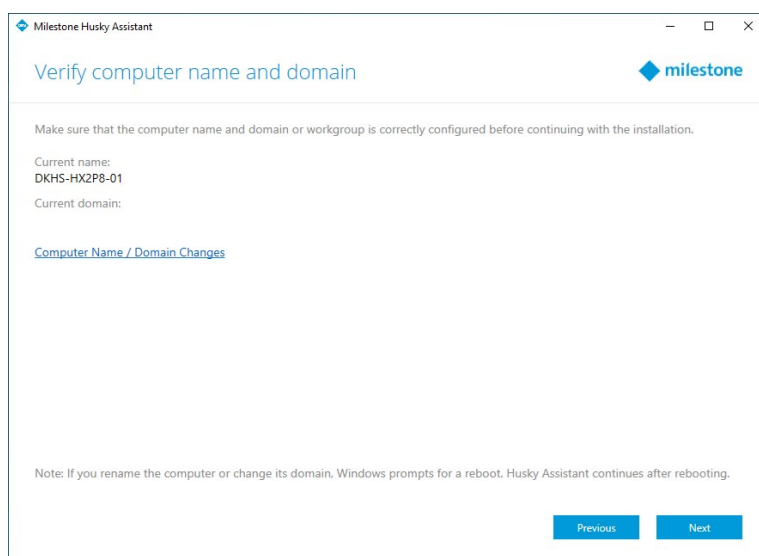
Husky Assistantが自動的に起動します。このウィザードでは、Milestone Husky X2の選択、設定を次のもので確認することができます。

- コンピュータ名およびドメインまたはワークグループ
- データストレージドライブ検出
- ネットワークスイッチの設定 (HX2P16のみ)
- 監視カメラ管理ソフトウェアのバージョン
- 追加のシステム最適化

1. 使用する言語を選択して[次へ]をクリックします。



2. [コンピュータ名 / ドメイン変更]をクリックして、コンピュータ名とドメインまたはワークグループの設定を行います。



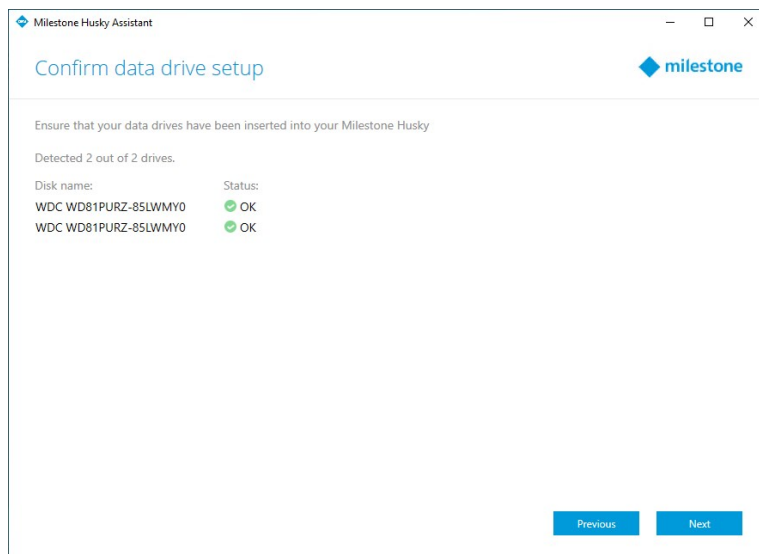
完了したら、変更を適用するために**Windows**を再起動します。

3. **Windows**を再起動して、ブートするまで待ちます。

Husky Assistantが再起動します。[次へ]をクリックします。

4. すでに名前およびドメイン設定を設定しているので、[次へ]をクリックします。

5. データドライブのセットアップが完了しました。【次へ】をクリックします。



6. スイッチに接続しているデバイスについて、**PoE+ ネットワークスイッチのIPアドレス範囲**を定義します (HX2P16のみ)。デバイスは、スイッチに接続しているDHCPに対応して設定されている場合は全て、IPアドレスが定義した範囲内で与えられます。

定義済みの範囲は2種類あります。

- 192.168.0.1 - 192.168.0.254
- 10.0.0.1 - 10.0.0.254

自分で範囲を定義することも可能です。「その他」を選択: 範囲の始点を指定してください。Husky Assistantが範囲の終点を自動的に定義します。

接続したカメラとデバイスの手動で割り当てた静的IPアドレスすべてに一致するIP範囲を選択します。

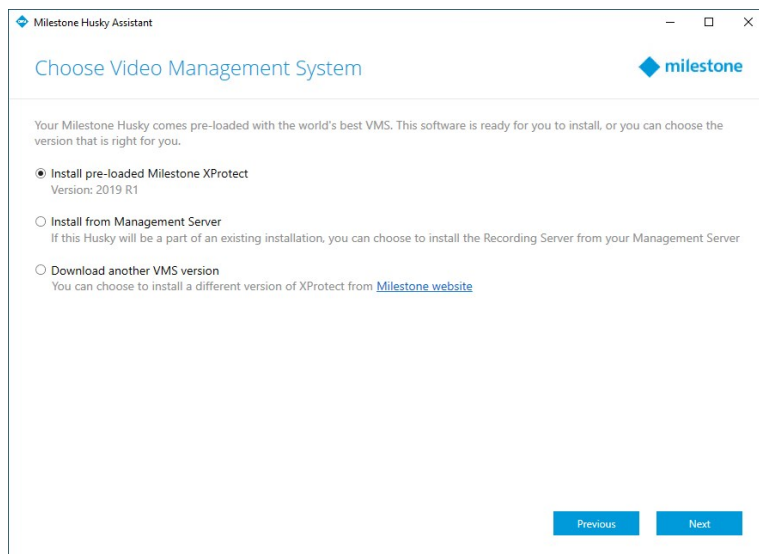


お使いのシステムが**16 PoE**ポート搭載のネットワークスイッチを使用している場合、IPアドレスの範囲は**2**つのサブネットに分割され、それぞれ**8**ポートモジュールとなります。必ずカメラまたはデバイスを適切なサブネットに割り当ててください。

ネットワークのIP範囲を変更すると、接続されている**PoE**電源のデバイスが再起動されます。

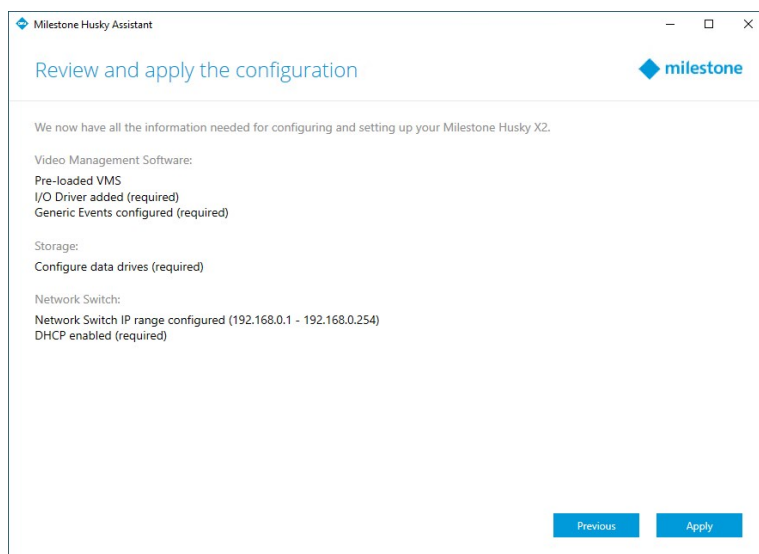
[次へ] をクリックします。

7. 次の3つのオプションがあります。



- スタンドアロンシステムにプリロードされたXProtectバージョンをインストールするには、「プリロードされたMilestone XProtect」をインストールを選択して[次へ]をクリックします。
- ユニッツをRecording Serverとして使用するには、[Management Serverからインストール]を選択して[次へ]をクリックします。Management ServerをインストールしたコンピュータのIPアドレスと資格情報を入力します。Recording Serverのインストールファイルは、Management Serverから後でダウンロードされます。
- 別のXProtectバージョンを選択するには、[別のVMSバージョンをダウンロード]を選択してMilestoneWebサイトでインストール用ファイルダウンロードのリンクをクリックします。ダウンロードが完了したら、[次へ]をクリックします。情報ページを読み、[次へ]をクリックします。

8. [設定を見直し適用]ウィンドウが表示されます。VMSの選択内容とネットワークスイッチの設定を確認し、[適用]をクリックし、プロセスを開始します。



- プリロードされた監視カメラ管理ソフトウェアをステップ7で選択した場合は、システムが自動的にXProtectのインストールを開始します。ページ19のXProtect VMSをインストールします、ステップ3へ続けます。
- Recording Serverを選択した場合は、「ページ21のRecording Serverをインストールします」へと続けます。
- 別のXProtectのバージョンをダウンロードした場合は、ページ19のXProtect VMSをインストールします、ステップ1へと続けてください。

XProtect VMSをインストールします

XProtect VMSインストーラーはすべてのサーバーとクライアントのコンポーネントをMilestone Huskyユニットにインストールします。このRecording Serverは認証されていますので、インストールするとシステムを使用することができます。

XProtect Essential+の無料版をインストールできます。無料版はXProtect VMSの機能やカメラの数が限られています。インストールのためにはインターネットに接続してくださいXProtect Essential+。

Recording Serverはネットワーク上でハードウェアをスキャンします。検知されたデバイスがシステムに自動的に追加されます。カメラのビューが事前構成され、デフォルトのオペレータの役割が作成されます。インストールが終わるとXProtect Smart Clientが開き、使用できるようになります。

コンピュータを再起動するように指示される場合があります。コンピュータの再起動後、セキュリティ設定によっては1つまたは複数のWindowsセキュリティ警告が表示される場合があります。これらを許可すると、インストールが完了します。

1. ソフトウェアをインターネット(<https://www.milestonesys.com/downloads/>)からダウンロードし、Milestone XProtect VMS Products System Installer.exeファイルを実行します。
2. インストールファイルが展開されます。セキュリティ設定によっては、1つまたは複数のWindows®セキュリティ警告が表示されます。これらを許可すると、展開が続行されます。
3. 完了すると、Milestone XProtect VMSインストールウィザードが表示されます。
 1. インストール中に使用する言語を選択します(これは、インストール後にシステムで使用する言語ではありません。システム言語は後で選択します)。**[続行]**をクリックします。
 2. Milestoneエンドユーザー使用許諾契約を読みます。使用許諾契約の条項に同意しますチェックボックスを選択し**[続行]**をクリックします。
 3. **[ライセンスファイルの場所を入力または参照]**で、XProtectプロバイダから入手したライセンスファイルを入力します。または、その場所を参照するか、XProtect Essential+リンクをクリックして無料ライセンスファイルをダウンロードします。続行する前に、ライセンスファイルがシステムで検証されます。**[続行]**をクリックします。



有効なライセンスファイルがない場合は、無料で取得することができます。XProtect Essential+リンクをクリックして、無料のライセンスファイルをダウンロードします。無料のライセンスファイルがダウンロードされ、**[ライセンスファイルの場所を入力または参照]**フィールドに表示されます。

4. 「単体のコンピュータ」を選択します。

インストールするコンポーネントのリストが表示されます(このリストは編集できません)。**[続行]**をクリックします。

5. **Recording Server**の暗号化ウィンドウにおいて、コミュニケーション クライアントからの暗号化による接続と**Recording Server**からデータストリームを読み出すサービスに安全な通信を行うことができます。

リスト中の有効になっている認証を選択します。**Recording Server**のデータ暗号化を用いて通信を安全にするには、詳しい**XProtect VMS** マニュアル**Milestone**がこちらのウェブサイト(<https://www.milestonesys.com/support/help-yourself/manuals-and-guides/>)に掲載されています。

通知エリアにおける**Recording Server Manager** トレイアイコンからこのインストール後、暗号化が可能です。

6. **[Recording Serverの設定]**ウィンドウで:

1. **RecordingServer**名 フィールドに、**RecordingServer**名を入力します。デフォルトではコンピュータ名になっています。
2. **Management Server**のアドレスフィールドに**Management Server**のアドレスとポート番号が表示されます:
localhost:80
3. メディアデータベースロケーションの選択フィールドでは、ビデオ録画を保存したい場所を選択します。ビデオ録画は、プログラムをインストールする場所とは別の、システムドライブ以外場所に保存することを**Milestone**は推奨します。デフォルト設定のロケーションは、最もスペースのあるドライブです。
4. **[ビデオ録画の保存期間]**では、ビデオ録画の保存期間を定義します。保存期間は、7日がデフォルトで設定されていますが、1日から999日まで設定が可能です。
5. **[続行]**をクリックします。

7. **[ファイルの場所および製品の言語を選択]**ウィンドウで:

1. **[ファイルロケーション]**フィールドでは、プログラムをインストールしたいロケーションを選択してください。
2. 製品の言語では、**XProtect**製品をインストールする言語を選択します。
3. **[インストール]**をクリックします。

ソフトウェアがインストールされます。

8. インストールが完了すると、インストールされたアプリケーションのリストが表示されます。

続けるをクリックして、システムにハードウェアとユーザーを追加してください。



[閉じる]をここでクリックすると、設定 ウィザードをバイパスし、**XProtect Management Client** が開きます。**Management Client**で、ハードウェアやユーザーをシステムに追加 するなどの設定が可能です。

9. **【ハードウェアのユーザー名とパスワードを入力】**ウィンドウで、メーカーのデフォルトを変更したハードウェアのユーザー名とパスワードを入力します。

インストールプログラムはネットワークをスキャンして、特定の資格情報を持つハードウェアとメーカーデフォルトの認証を持つハードウェアを探します。

【続行】をクリックします。

10. システムに追加するハードウェアを選択するウィンドウでは、システムに追加したいハードウェアを選択します。**【続行】**をクリックします。

11. デバイスを設定するウィンドウでは、ハードウェアの名前の横にある、編集アイコンをクリックして、ハードウェアに記述的な名前をつけることができます。この名前は、ハードウェアデバイスの名前の先頭に付きます。

ノードを拡張して、カメラ、スピーカーやマイクのようなハードウェアデバイスを有効または無効にすることができます。



デフォルトでは、カメラは有効化、そしてスピーカーおよびマイクは無効化されています。

【続行】をクリックします。

12. ユーザーを追加するウィンドウでは、**Windows**ユーザーおよび基本ユーザーを追加できます。これらのユーザーは、システムシステム管理者の役割、あるいはオペレータの役割を持つことができます。

ユーザーを定義し、追加をクリックします。

ユーザーの追加が終わったら、続けるをクリックします。

インストールと初期設定が終わると、設定が完了しましたウィンドウが現れます。そこでは、以下を見ることができます：

- システムに加えられたカメラとデバイス
- システムに加えられたユーザーのリスト
- XProtectWebClientとXProtectMobileクライアントのアドレスを指定して、ユーザーとコピーやシェアができるようになります

【閉じる】をクリックすると、XProtect Smart Clientが開き、利用可能となります。

最後に、Husky Assistantがセットアッププロセスを完了したら、**【完了】**をクリックします。

Recording Serverをインストールします

Milestone Huskyユニットを、Husky AssistantウィザードでRecording Serverとして使用すると選択した場合、Recording ServerのインストールはHusky Assistantウィザードがバックグラウンドで実行されている間に自動的にスタートします。メッセージが表示されたら：

1. インストール中に使用する言語を選択します。【続行】をクリックします。
2. 場合に応じて次を選択します。
 - 【基本】: デフォルト値でRecording Serverをインストールする場合
 - 【フェールオーバー】: Recording ServerをFailover Recording Serverとしてインストールする場合、「ページ22のFailover Recording Serverをインストールします」で指示されるステップを実施してください
 - 【カスタム】: Recording Serverをカスタム値でインストールする場合
3. Recording Serverを設定します。
 - Recording Server名
 - Management Serverのアドレス
 - 録画を保存するメディア データベースの場所

【続行】をクリックします。
4. 【カスタム】を選択した場合:
 1. このコンピュータにインストールするRecording Serverの数を指定します。【続行】をクリックします。
 2. サービスアカウントを指定します。必要に応じて、パスワードを入力して確認します。【続行】をクリックします。
5. Recording Serverの暗号化ウィンドウにおいて、コミュニケーション クライアントからの暗号化による接続とRecording Serverからデータストリームを読み出すサービスに安全な通信を行うことができます。

リスト中の有効になっている認証を選択します。Recording Serverのデータ暗号化を用いて通信を安全にするには、詳しいXProtect VMS マニュアルMilestoneがこちらのウェブサイト(<https://www.milestonesys.com/support/help-yourself/manuals-and-guides/>)に掲載されています。



通知エリアにおけるRecording Server Manager トレイアイコンからこのインストール後、暗号化が可能です。
6. プログラムファイルの【ファイルの場所】を選択します。【製品の言語】でサーバーをインストールする言語を選択します。【インストール】をクリックします。
7. ソフトウェアがインストールされます。インストーラが完了すると、正常にインストールされたコンポーネントのリストが表示されます。【閉じる】をクリックします。

Recording Server Managerのトレイアイコンから、Recording Serverの状態をチェックすることができます。
8. Husky Assistantがセットアップのプロセスを完了したら、【完了】をクリックします。

Failover Recording Serverをインストールします

Recording Serverインストールウィザードでフェールオーバーを選択したら、次のようにインストールを続行します。



インストール時に、**FailoverServer**サービスを実行 する必要のあるユーザーアカウントを指定 するよう 指示があります。このユーザーアカウントは、システムで管理者 権限を持つものでなければなりませ ん。

1. **Failover Recording Server**のプロパティを指定します。**[続行]** をクリックします。
2. フェールオーバーレコーディングサーバーをインストールする際には、**[このアカウント]**と名付けられた特定のユーザーア カウントを使用 する必要があります。必要に応じて、パスワードを入力して確認します。**[続行]** をクリックします。
3. **Recording Server**の暗号化 ウィンドウにおいて、コミュニケーション クライアントからの暗号化 による接続と**Recording Server**からデータストリームを読み出すサービスに安全な通信を行 うことができます。

Milestone この**FailoverRecording Server**から引 き継ぐ**Recording Server**上で同じ選択 をすることをお勧めします。**RecordingServer**のデータ暗号化を用いて通信を安全にするには、詳しい**XProtectVMS**マニュアルMilestoneがこち らのWeb サイト(<https://www.milestonesys.com/support/help-yourself/manuals-and-guides/>)に掲載 されていま す。

通知エリアにおける**FailoverRecordingServerManager**トレイアイコンからこのインストール後、暗号化が可能です。

4. プログラムファイルの**[ファイルの場所]**を選択します。**[製品の言語]**でサーバーをインストールする言語を選択します。**[インストール]**をクリックします。
5. ソフトウェアがインストールされます。インストールが完了 すると、正常にインストールされたコンポーネントのリストが表 示されます。**[閉じる]**をクリックします。

Failover Recording Server Managerのトレイアイコンから、**Failover Recording Server**の状態 をチェックすることが できます。

6. **Husky Assistant**が設定のプロセスを完了したら、**[完了]**をクリックします。

XProtect®Device Packのダウンロード

Device Packは、デバイスと連携するための**XProtect**システムとともにインストールする複数のドライバーです。**Device Pack**は **Recording Server**にインストールされます。Milestone は定期的に新しいデバイスとファームウェアバージョンのサポートを追 加し、平均で2ヶ月ごとに**Device Pack**をリリースします。**Device Pack**は、**XProtect**システムをインストールするときに自動的 に含まれます。最新の**Device Pack**を入手するために、最新のバージョンがダウンロードしてインストールされるように手動で 確認してください。

インストール後に**Device Pack**を更新するにはMilestone Webサイト(<https://www.milestonesys.com/downloads/>) のダウ ンロードセクションに移動し該当するインストールファイルをダウンロードします。



ご使用のシステムで非常に古いカメラを使用している場合は、レガシーデバイス用のDevicePackをダウンロードする必要があります。詳細については<https://www.milestonesys.com/community/business-partner-tools/device-packs/>を参照してください。

Windowsをアップデートします

最新のWindows Updateをすべて適用してWindowsをアップデートするには、Windows Update設定を開きアップデート内容を確認します。適用可能なアップデートを全て確実にインストールして、必要に応じてHuskyユニットを再起動します。

他のコンピュータにクライアントをインストールします

コンピュータから専用 クライアント経由 でXProtectシステムにアクセスすると、ベストなパフォーマンスが得られます。

- ビデオ確認に使用したXProtect Smart Client
- システムの設定 と管理 に使用したXProtect Management Client

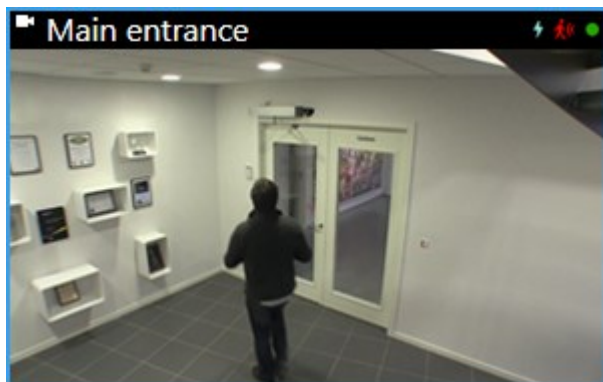
XProtect Smart Clientをインストールします

XProtectシステムには、公開 インストールWeb ページが組み込まれています。このWeb ページから、ネットワーク内の他のコンピュータからXProtect Smart Clientをダウンロードしてインストールできます。

1. 公開 インストールWeb ページにアクセスするには、次の URL をブラウザに入力します: **http://[computer address]/installation/**
[コンピュータのアドレス]には、XProtect VMS コンピュータのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
2. [すべての言語]をクリックしてダウンロードしたファイルを実行します。
3. すべての警告ではいをクリックします。解凍が開始します。
4. インストーラで使用する言語を選択してから、続行をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、同意します。[続行]をクリックします。
6. インストールをタイプを選択してください。標準をクリックすると、デフォルト値を選択し、インストールを開始します。
7. XProtect Smart Clientを開きます。XProtect Smart Clientのログインダイアログボックスが表示されます。
8. [コンピュータ]フィールドで、XProtect VMS コンピュータのホスト名またはIPアドレスを指定します。
9. 認証を選択して、ユーザー名とパスワードを入力します。[接続]をクリックするとXProtect Smart Clientが開きます。
10. デフォルトのビューを確認したり、新しいビューを追加することができます。設定モードで、グループ、ビューの順にこのグループに追加します。

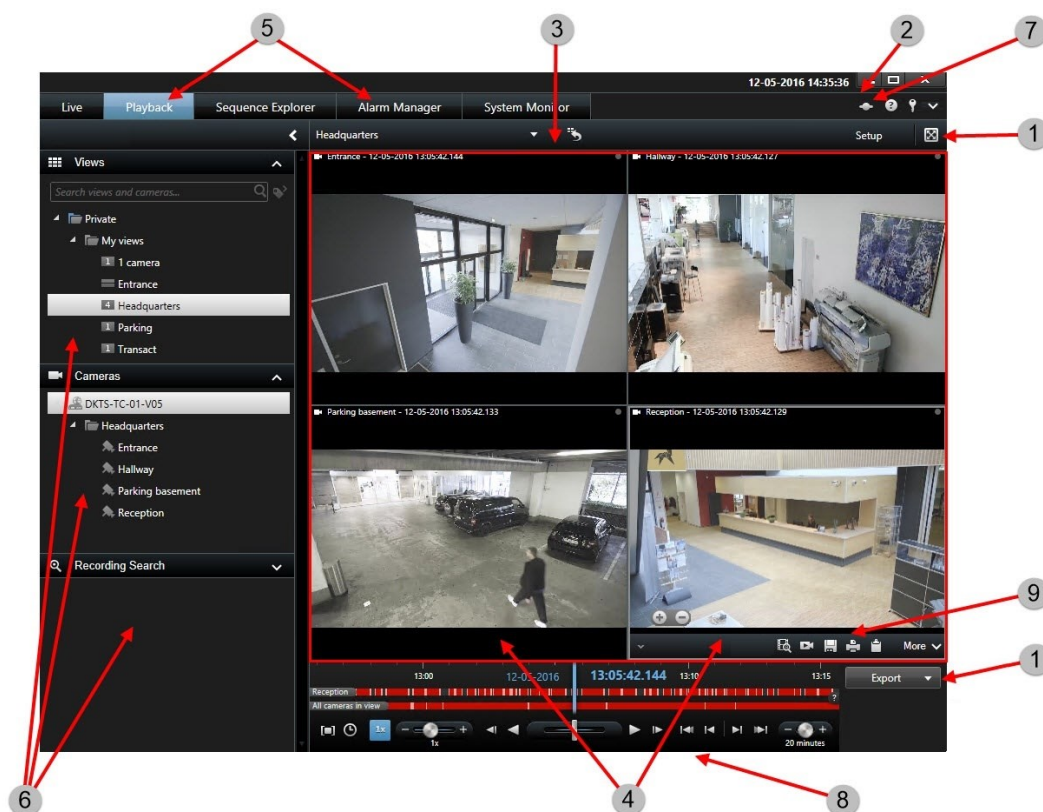
11. ビューアイテムまでドラッグし、もう一度[設定]をクリックして、ビューアイテムのいずれかをカメラに追加します。

ライブビデオを表示でき、カメラビューの右上端に丸いビデオインジケータが緑色または赤色になっていることを確認します。緑色は、カメラがビデオをシステムに送信することを示します。赤色は、システムが現在録画中であることを示します。



XProtect Smart Clientで機能とタスクの詳細、およびシステムで実行できる処理を確認するには、右上端の[ヘルプ]アイコンをクリックするか、[F1]キーを押してコンテキスト依存ヘルプを表示します。

XProtect Smart Client インターフェース



XProtect Smart Clientでは、ライブビデオは【ライブ】タブに、録画ビデオは【再生】タブに表示されます。【ライブ】タブを選択すると、XProtect Smart Clientは、監視システムサーバーに接続し、カメラからのライブビデオが選択したビューで再生されます。

アイテム	機能
1	タスクボタン
2	アプリケーションのツールバー
3	ビュー
4	アイテムの表示
5	タブ
6	パネル
7	アプリケーションボタン
8	タイムライン
9	カメラツールバー

Management Clientをインストールします

XProtect VMSには、システム管理者インストールWebページが組み込まれています。システム管理者は、このWebページからManagement Clientやその他のXProtectシステムコンポーネントをネットワーク内の他のコンピュータにダウンロードしてインストールできます。

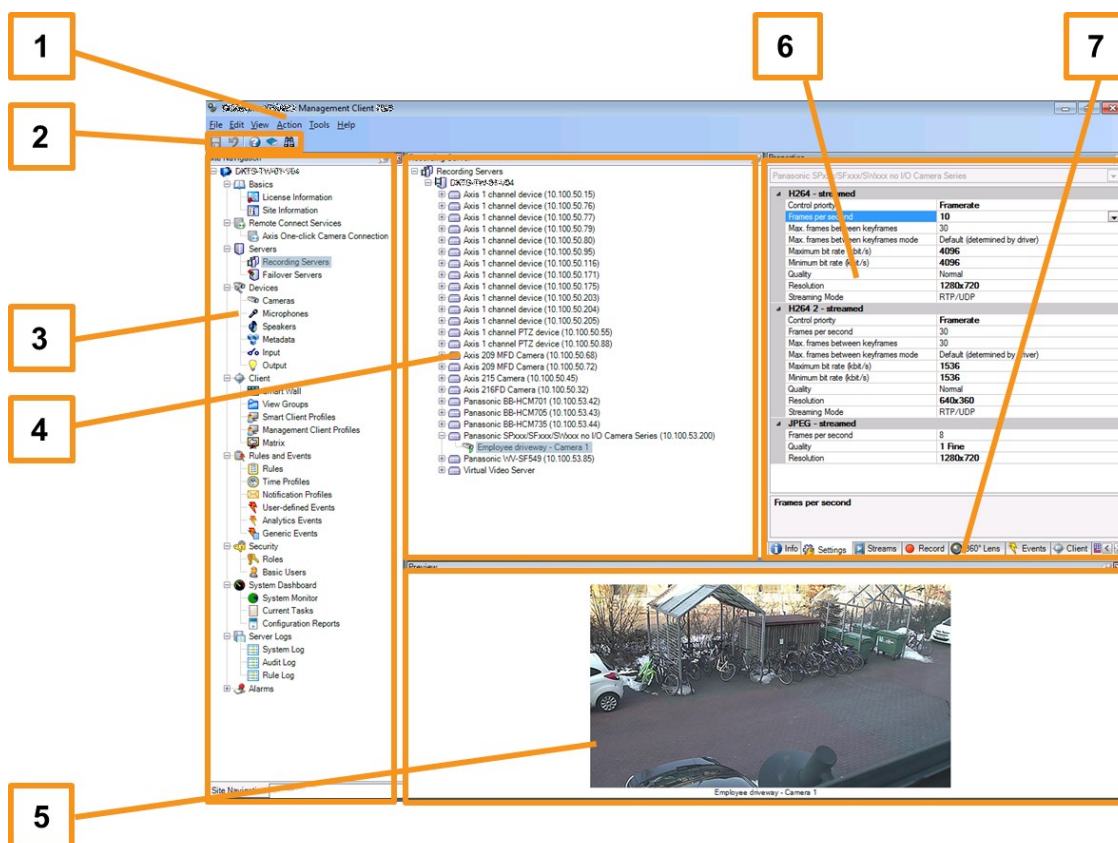
1. 管理インストールWebページにアクセスするには、ブラウザで次のURLを入力します: **http://[コンピュータのアドレス]/installation/admin**

[コンピュータのアドレス]には、XProtect VMSコンピュータのIPアドレスまたはホスト名を入力します。

2. Management Clientインストーラで【すべての言語】をクリックします。ダウンロードしたファイルを実行します。
3. すべての警告ではいをクリックします。解凍が開始します。
4. インストーラの言語を選択してください。【続行】をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、同意します。【続行】をクリックします。
6. ファイルの場所および製品の言語を選択してください。【インストール】をクリックします。
7. インストールが完了しました。正常にインストールされたコンポーネントの一覧が表示されます。【閉じる】をクリックします。
8. デスクトップのアイコンをクリックし、Management Clientを開きます。
9. Management Clientのログインダイアログが表示されます。
10. コンピュータフィールドでManagement Serverのホスト名またはIPアドレスを指定します。
11. 認証を選択して、ユーザー名とパスワードを入力します。接続をクリックします。Management Clientが起動します。

ManagementClientの機能の詳細とシステムで実行できる処理を表示するには、ツールメニューにある【ヘルプ】をクリックします。

Management Client インターフェース



1. ツールメニュー
2. ショートカットアイコン
3. サイトナビゲーションペイン
4. 概要ペイン
5. ビデオプレビュー
6. プロパティ
7. プロパティタブ

システムの調整

複数のサイトの数千台のカメラに拡張できるよう、システムにはこの特殊なタスクに対応できるコンポーネントが含まれています。スタンドアロンの**Milestone Husky X2**にすべてのコンポーネントをインストール済みの場合は、このコンポーネントを分散システム内の別の専用サーバーにインストールして、拡大対応させ負荷を分散させることができます。

システムの設定によっては、スタンドアロンの**Milestone Husky X21**台でカメラ**133**台のストリーム設定に対応できます。**720p、25fps、2Mb/s**。

インストールによって必要なコンポーネントは異なります。**Recording Server**、**Failover Recording Server**、**XProtect Mobile**クライアントと**XProtect Web Client**へのアクセスをホスティングしアクセスを提供する**XProtect Mobile**サーバーは、いつでも追加することができます。



helpfeedback@milestone.dk

Milestoneについて

Milestone Systems はオープンプラットフォームの監視カメラ管理ソフトウェア (Video Management Software: VMS) の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供します。Milestone Systems は、世界の15万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つMilestoneのソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成します。Milestone Systemsは、1998年創業、Canon Group傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

